PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第33号

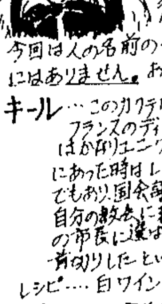
'98 8.1 発刊

Yeah! マスター No.30 〜マスター電車に乗るの巻〜 作 チーフ井上

拝啓 August

梅雨が明けないまま8月に突入。何か変な天気。地球が壊れてるのかな? 早くビールがおいしい暑い夏になってくれ〜!

バーテンダー福本のカクテルのお話



最近この福本君とも飲んでませんが、さんざんカクテルやお酒のうんちく話をしたあげく、最終的に長渕を歌いたくなってカラオケに行きたがる。そんな男です。それにしても長渕はな……。

彼の働いているお店 **三間堂**(池袋支店)→3590-3572

今回は人の名前のついたカクテルを2つ紹介します。ただし、ロッキーのメニューにはありません。あしからず

・**キール**…このカクテルを考えたのは、ワインとカシスリキュールの産地として有名なフランスのディジョン市の市長**キャノン・フェリックス・キール氏**です。このキール氏はかなりユニークな人でした。第2次世界大戦でフランスがドイツの占領下にあった時はレジスタンスのリーダーをつとめ、市長であると同時に牧師でもあり、国会議員もつとめていました。1960年にソ連のフルシチョフ首相を自分の教会に招待して論争をいどんだこともあります。また89才で5期目の市長に選ばれると自分をさしおいて75才の役人を年寄りという理由で首切りしたという逸話もあります。

レシピ… 白ワイン(辛口) 4/5 クレムド・カシス 1/5

・**ネグローニ**…食前酒として知られるイタリアのカンパリを使ったカクテル。ベルモットの甘さがジンとカンパリのほろ苦さを和らげている。フィレンツェの老舗レストラン「カソーニ」で**ネグローニ伯爵**が食前酒として好んで飲んでいたレシピで、店のバーテンダーが伯爵の許可を得て、1962年に発表した。

レシピ…ドライジン30ml | カンパリ30ml | スウィートベルモット30ml | オレンジスライス1枚

新人スタッフ紹介コーナー

丸山アキラ(20)です。ついにロック野郎が来た。ガンズ&ローゼズからスティービーレイボーンまで、SEX.Drug.R&Rな奴だ。でも本当はビスケットが好物です。

ヒモはやめました

→新しくロッキートップに入りましたアキラと言います。現在ロックスターを目指してCROSS CLOUDというバンドでギターをやってます。火・水・土とロッキートップで働かせていただいております。そして火・土は厨房の方で働くことになっておりまして料理の出てくるのが少々遅いかもしれませんが一所懸命作っているためですので怒らないで下さい。さて僕はつい最近までヒモ状態だったのですが、その彼女にも逃げられたので、しっかりしなきゃ!自立するハートを育てよう!と新たに女性をGetしたのですがその娘は親と同居でしかも門限付というお固い家柄。めまぐるしく変わる僕の人生。まぁ楽しくやりたいです。どうぞこの文を読んでくださった暖かい皆様、これからよろしくお願いします。

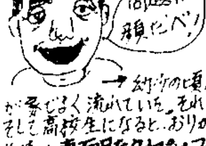
チーフ井上の思い出の1曲コーナー

「個人授業」 フィンガー5

←小1の頃、あだ名は「ゴリラ赤ちゃん」赤ちゃんのように小さいのにゴリラみたいに力が強いから。恥ずかしいあだ名である。みんなに「ゴリ赤ちゃーん」と呼ばれてたと思うとぞっとする。

→くもり空の小学校の焼却炉のそば(今思うとダイオキシンをばらまきまくってた)。外そうじ当番の僕とたえ子ちゃんは、「個人授業」を歌いながらそうじをしてた。その仲良しの女の子も「たえ子」という名だった事もあってとても印象的だ。フィンガー5は強烈だった。アキラの犯罪的なサングラス、子供が歌うにはちょっとお色気な曲だったがすっと入ってくるポップス性は、はんぱじゃなかった。日本のヒット曲で|C|↗|Bb F|C|というコード進行は少ない(沢田研二の「TOKIO」もそうだ マニアックだがー) この歌をきくと、小学校のニワトリ小屋、グランド、桜の木、おっかない担任の渡辺先生(4?)、そして5.6年のお兄さん、お姉さん達がえらく大人に見えたのを思い出す。そして、沖縄とも何かしらこの頃から縁があったんだなーしかなり勝手に考えるのだった。(フィンガー5は沖縄のファミリーバンド)

ブルーグラスな人達〜Meet The Bluegrass〜

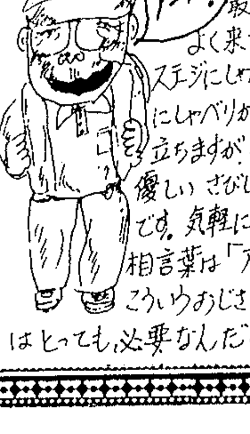


ブルーグラスとの出会いを通じてブルーグラスを考察するこのコーナー。今回は、次回に引き続き、ウエスト・オブ・ザ・ムーンから「リーダーと言えば親も同然」と言わしめた、バンジョーのクンニちゃんこと**片岡邦明**さん(49)です。ウエストのアカペラをはじめとする、あの素晴らしいハーモニー、その辺の行きさつに迫ってみたい!

歌とコーラスが好きだった型!

→幼少の頃近所(千葉市)に住んでいたおじがジャズを聴いていて、その影響で**FEN**が家でよく流れていた。それしかなかったというのもあるが、洋楽に全く抵抗なく入っていった。そして高校生になると、おりからのフォークブームに影響されて、ギター、ボーカル、そしてバンジョーを始める。当時は**真面目なタイプはフォーク系、不良がベンチャーズ**と相場が決まっていた。片岡さんは真面目ぶっていたらしい。でもエレキギターはきっと似合わなかったのでしょう。さて、初めて一人で東京に行き、**銀座の山野楽器**で**ピアレスの4弦バンジョー**を買ったものの、弦楽器にチューニングというものがあることさえ知らなかった片岡さんは悩んだ。その後、LPのジャケットを見て「**このバンジョーじゃない!**」と気づき、中古で5弦バンジョーを買い直した。教則本も**嘘くさい峠のわが家**ぐらいしかない当時、我流で**オープンリール**のテープデッキを逆回しして必死にコピーした。あの頃基礎をしっかり教わっていたら今頃「なめんなよ、有田」の世界だったとは本人の弁。大学に入っても高校の仲間とモダンフォークをやっていた。サークルは**体育会系ノリが大っ嫌い**だったので入らず。でも「映画研究会」には籍を置いていた。そして**ヤマハライトミュージックコンテスト**に応募して、何と関東甲信越大会までいった。その時一緒に出てたのが、**南こうせつ、赤い鳥、オフコース**だった。だが最もショックを受けたのは千葉大の**スモーキーマウンテニアーズ**のプレイだった。それは、**まさしくブルーグラス!**だったのだ。バンジョーのテクに舌を巻いた。その時を境に、フラット&スクラッグスetcを真剣に聴くようになる。またその頃**リアルタイムで「俺達に明日はない」**が上映され、**フォギーマウンテン・ブレイクダウン**で、ますますブルーグラスの道へ誘なわれた。そして片岡さんにジャズを聴かせた例のおじが**千葉ブルーグラスフェスティバル**を開き、その中で様々なブルーグラッサー達と出会うようになる。片岡さんはいつの日か**歌とコーラスで酔わせるブルーグラスバンド**をやりたいと思うようになった。そして近所にいた偶然のメンバーを集めてウエスト・オブ・ザ・ムーンが結成されることになる。まさに運命的です。「これからの抱負は?」「他のジャンルの曲を独自のアレンジでやりたい…それより今日は女の子のお客さんが多いから、どうでもいいっぺよ!」との事でした。→ **8/21(金)**に出演します。

ロッキートップのお得意さんコーナー!



細野さん(62)

最近、本当によく来てくれます。ステジにしゃべりかけ、客席にしゃべりかけ、かなり目立ちますが、基本的には優しいさびしがり屋さんです。気軽に遊びましょう 相言葉は「アーッハ!」こういうおじさん、日本にはとっても必要なんだな〜。